



JEFCOM
ELECTRICIANS TOOLS

LASER POINT LINER

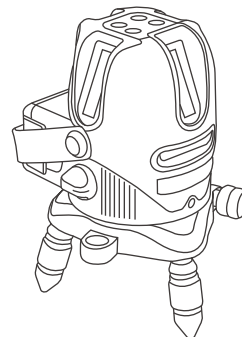
レーザーポイントライナー

LBP-6GR2

取扱説明書



レーザーポイントライナーは、精密機器です。精度維持および
末永くご使用いただくために、ご購入先を通じて定期点検
(1回/年)を弊社へご依頼くださることをおすすめいたします。



ジェフコム株式会社

〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16

この度は、レーザーポイントライナー LBP-6GR2をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、レーザーポイントライナー LBP-6GR2の概要、操作方法について説明しています。
安全かつ効率よくお使い頂く為に本書をよくお読み頂き、正しくお使い下さるようお願い致します。

- この取扱説明書は必ずお読みになり常時、機械と同じ場所に保管して下さい。
- 製品の仕様及び外観を改善のため予告なく変更することがあります。
- 掲載の図は、説明をわかりやすくするために、実際とは多少異なる場合があります。あらかじめ御了承下さい。

目次

1. ご使用上の注意	1
2. 各部の名称	3
3. 仕様	4
4. ご使用方法	5
5. 自動補正OFFモード	8
6. レーザー投影とモード切替	9
7. 三脚への取付	10
8. 精度の点検	11
9. 付属品	16
10. 故障かな？と思ったら	17

1. ご使用上の注意

 ご 注 意	このマークは製品の取り扱いを誤った場合に使用者が障害を負う危険および物的障害の発生が想定される事を示します。
 危 険	このマークは安全上してはいけない「禁止」内容を示します。

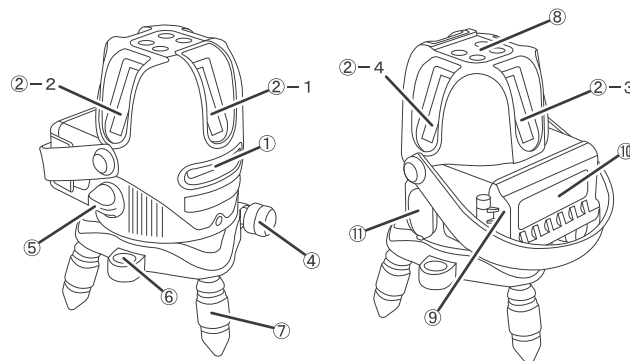
レーザー墨出器本体及び受光器の防塵防水性能は IP54 相当です。
使用にあたっては『ご使用上の注意』の項目内容にご注意下さい。

- IP54 とは
- 防水性能・・・『いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響がない』という規格です(防沫形)
 - 防塵性能・・・『器具の所定の動作及び安全性を阻害する量のじんあいの侵入から保護されている』という規格です(防塵形)

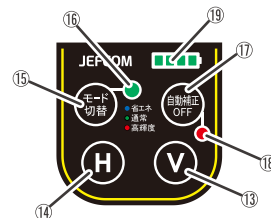
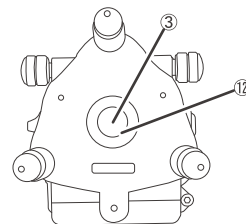
-  **ご注意**
- 本機は水しぶきから保護する構造ではありますがホース等の直接噴流や水中での使用は出来ませんのでご注意ください。**また水滴が付いた場合は速やかに乾いたやわらかい布で水滴を拭き取って下さい。**
 - 本機を水中に入れないで下さい。本機は水中やホース等による直接噴流からは保護されません。**お手入れの際、水洗いは絶対にしないで下さい。**
 - 本機は水しぶきからは保護されますが雨天時の使用、特にレーザー照射ガラスに水滴が着くとその水滴がレンズ効果を起こし正しくレーザーを照射できません。**必ず水滴を拭き取ってからご使用下さい。**
 - 本機に水滴が付くと水の浸入は防ぎますが急激な温度変化により機械内部が結露する場合があります。結露した場合は結露が解消されるまで使用を中止して下さい。
 - USBケーブル接続時は本機の防塵防水性能は保証されませんのでホコリや水には注意して下さい。
 - 電池BOXとDC用ゴムキャップはしっかりと締めて下さい。しっかりと締めた状態でのみ、保証する防水性能を発揮します。
 - 電池BOX内部、接点及びコネクタに塵や水分がつかないように十分に注意して下さい。これらの部分から機械内部に塵や水分が浸入すると、故障の原因となります。
 - 格納する時は、本体とケースが乾いていることを確認して下さい。内部に水滴がついていると、本体の故障及びサビの原因となります。
 - 本機を持ち運ぶ時やご使用後には、必ず電源をOFFにして下さい。
 - 長期間ご使用にならない場合は、電池を取り外して下さい。**
 - 精度が狂ったり、不具合が発生した場合はご使用を中止し、ご購入先を通じて弊社へ修理、点検をご依頼下さい。

2. 各部の名称

- △ ご注意** 保管の際は必ずケースに入れ振動の加わる場所、高温、湿気やホコリの多い場所での保管は避けて下さい。
- ・本機を長時間、直射日光が当たる場所に放置しないで下さい。性能に影響する場合があります。
- ・作業を始める前にレーザー照射口にゴミやホコリ、水滴がついていないかを確認して下さい。
- ・お手入れの際はシンナー、ペンジン等の揮発性の液体や有機溶剤を絶対に使用しないで下さい。
- ⊘ 危険** ・ルーベ、拡大鏡、顕微鏡及び望遠鏡、双眼鏡などの光学器具を用いてレーザー出力を観察すると、目に危険を及ぼす場合があります。
- ・レーザー照射口、レーザービームは絶対にのぞかないで下さい。また人に向けてレーザーを照射しないで下さい。視力低下を招く場合があります。
- ・分解、改造、修理をしないで下さい。レーザー被ばくによる視力障害の原因となります。修理が必要と思われる時は、販売店もしくは専門の修理工場にご相談下さい。
- ・この製品は測量のみに使用して下さい。他の目的に使用すると予見できない危険を誘発する恐れがあります。
- ・レーザー光が強く反射する構造物(鏡、窓ガラス等)にあたらないように本機を設置して下さい。レーザーの反射光も視力障害の原因となります。
- ・本機を設置する時、作業者はもちろん周囲の人の眼の高さに設置しないで下さい。
- ・幼児や子供の手の届く場所に本機を保管しないで下さい。
- ・万が一、レーザー光による障害が疑われる時は、速やかに医師による診察または処置を受けて下さい。
- ・直射日光の当たる場所や、高温となる場所など40℃を超える環境では、レーザーの消費電流が過大となり、性能や寿命を劣化させ、故障の原因となりますので使用しないで下さい。
- ・本機は精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないで下さい。また、ご使用後は必ずケースに入れ、保管して下さい。
- ・本機は精密機器のため、お客様の方での分解・改造を行わないで下さい。性能や寿命を劣化させる原因にもなり保証できなくなります。
- ・電池や本体を火中に投入しないで下さい。電池が破裂し、けがや火傷を起こす恐れがあります。
- ・作業は施工者の技術責任で行われるものであり工事不良に関わる一切の責務には応じられません。



- ① 水平レーザー照射口
②-1 垂直レーザー V1照射口
②-2 垂直レーザー V2照射口
②-3 垂直レーザー V3照射口
②-4 垂直レーザー V4照射口
③ 地墨レーザー照射口
④ エンドレス全周微動ネジ(左右両側配置)
⑤ ロックツマミ(電源ON/OFF連動)
⑥ 円形気泡管
⑦ 準準ネジ(3本)
⑧ 操作パネル
⑨ 電池BOX
⑩ 説明ラベル添付位置
⑪ DCジャック
⑫ 三脚取付ネジ(5/8インチ)
⑬ 垂直レーザー(V)照射ボタン
⑭ 水平レーザー(H)照射ボタン
⑮ モード切替ボタン
⑯ モード切替ランプ
⑰ 自動補正OFFボタン
⑱ 自動補正OFFランプ
⑲ 電池残量表示



3.仕様

光	源	515nm±2% 緑色半導体レーザー(ラインレーザー) 650nm 赤色半導体レーザー(地墨レーザー)
光	出	力
パルス幅/周波数		7mW以下 クラス2(JIS C6802:2018) 50μs/10kHz±10%(通常モード) 30μs/10kHz±10%(省エネモード)
線	幅	2mm/5m
精	度	水平・垂直±1mm/10m 鉛直±1mm/5m
自	動	補正範囲
傾	斜	警告
自動補正OFF機能		有
照射ラインメモリ機能		有
制	動	方式
本	体	回転機構
回	転	微動装置
電	池	残量警告
電	源	
連	続	使用時間
使	用	温度範囲
防	塵・防	水
三	脚	取付部
受	光	器対応
屋	外	最大到達距離
サ	イ	ズ
重	量	

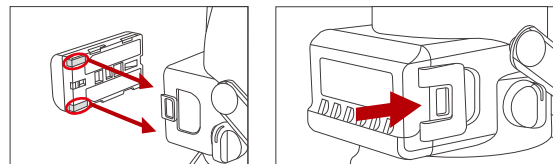
※連続使用時間は使用環境により異なります。

4.ご使用方法

注意:ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

●専用充電式Li-ion電池パック

電源がOFFになっていることを確認して電池BOXフタを開き、専用充電式Li-ion電池パックと本体側の端子の位置を合わせて専用充電式Li-ion電池電池パックを本体に装着してフタを閉めます。
このとき防塵防水性能を維持する為にフタの爪がカチッと合まるまで下図の矢印部分、電池BOXフタがしっかりと閉まっていることを確認して下さい。



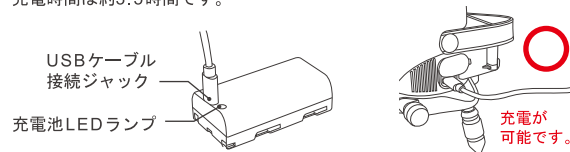
電池残量警告

電池の残量は操作パネルの電池マークで表示されています。
電池マークが残り1つになりましたら、電池を交換または充電して下さい。



●充電方法

充電は、付属のUSB-ACアダプター及びUSBケーブルを使用し、専用充電式Li-ion電池パックの接続ジャックに差し込んで充電して下さい。
本体側面にあるDCジャックからも充電が可能です。
充電時間は約3.5時間です。



充電LEDランプ



充電中
(赤点灯)

充電完了
(青点灯)

電池マーク表示(操作パネル)



充電中
(点滅)

充電完了
(点灯)

警告：充電が完了したら速やかにUSB-ACアダプターを外して充電作業を終了して下さい。

注意：充電式電池は工場出荷時、十分に充電されていませんので注意下さい。

：充電式電池を使い切った後は、ある程度の充電を行ってから保管して下さい。

：直射日光の強い所や、炎天下の車内等の高温の場所での使用・放置はしないで下さい。

注意：高温での保管を避け、適温範囲内で保管して下さい。
：専用充電式電池はリチウムイオン電池です。

使用済みの電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで電池回収協力店へご持参下さい。



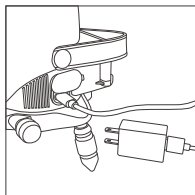
Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

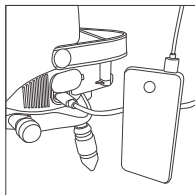
ポイント：電池残量がない状態で保管すると、過放電状態になり、充電ができなくなってしまう。また、満充電に近い状態で保管を繰り返すと、電池の寿命を縮める原因となります。長時間保管する場合は、50%前後の状態にし適温範囲内で保管して下さい。但し、過放電を防止するために、半年に1回程度の充電(50%程度)を行って下さい。

●USB-ACアダプター及びUSBケーブル

付属のUSB-ACアダプター及びUSBケーブルを使用して、AC100V対応可能です。本体側面のDCジャックに差し込んでご使用下さい。
また、付属のUSBケーブルを使用して、市販のUSBバッテリーの使用も可能です。(0.5A以上5V)
この時、電池BOXに専用充電式Li-ion電池パックが装着されている場合、専用充電式Li-ion電池パックは充電されます。



USB-ACアダプター



USBバッテリー(市販品)

注意：弊社が指定するUSB-ACアダプター及びUSBケーブル以外は絶対に使用しないで下さい。

：USBケーブル接続時は本機の防塵防水性能は保障されませんのでホコリや水には注意して下さい。

：USBケーブルを使用しない場合は必ずゴムキャップをDCジャックにはめ込んで下さい。
ゴムキャップをはめ込んだ状態でのみ本機の防塵防水性能(IP54相当)は保障されます。

電池残量不足によるレーザー光の明るさのバラつきを防ぐ為に、補正範囲外からの復帰時や、レーザーの照射ラインを増やす為に照射ボタンを押した時等、電池消費量が急激に上昇した際、電池残量が少ない場合にはレーザーラインを全て消灯させ、電源ON時の状態に戻します。
この場合レーザーの照射本数を減らせば、まだ作業は可能ですが、早めの電池交換又は充電をお奨めします。

●作動方法

本機は傾きが±3°まで自動的に補正できるよう設計されております。
傾きが3°を超えた場合、電源が入っていればブザー音でお知らせします。

①本機が±3°以上傾いているとブザー音が鳴りますので整準ネジを回して本機をある程度水平にして下さい。

ポイント：気泡管は目安です。右図程度のズレは問題ありません。



②ロックツマミをONの状態にして電源を入れます。
(ロックツマミは最後まで確実に回して下さい。)

③前回記憶したレーザー(通常モード)が照射されます。
操作パネルより必要なモードを選択及びレーザーを照射させて下さい。



④本機を回転させて必要な方向にレーザーを照射させて下さい。
(全周微動ネジを使用すると床墨、たち墨合わせが簡単です。)

※照射ガラスにレーザーが反射して本来のレーザー光以外に違うレーザー光(ゴーストレーザー)が照射される時がありますが、異常ではありません。



●停止方法

ロックツマミをOFFの状態にしてください。
自動補正装置（ジンバル）がロックされ、電源OFFとなります。
ジンバル保護の為、本機の移動時やご使用後はロックツマミをOFFにしてジンバルをロックして下さい。（ロックツマミは最後まで確実に回して下さい。）

照射ラインメモリ機能搭載

本機には照射ラインメモリ機能が搭載されています。
電源をOFFにした時に使用していたレーザー照射を記憶し、次に電源をONにした時に同じレーザーを照射をします。

※ロックツマミのON/OFFは2秒以上間隔をあけて下さい。

本体内部の処理が追いつかず、レーザーが照射されなかったりボタン操作が効かなくなったりすることがあります。その場合は、一度電源をOFFにしてから再度電源をONにして下さい。

5. 自動補正OFFモード

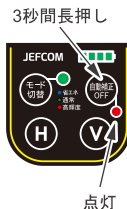
自動補正OFFモードでは、自動補正範囲（±3°）以上の角度でも任意の傾きでレーザーラインを照射することができます。

- ① 右図のようにロックツマミをOFFの状態にします。
ロックツマミをOFFの状態のまま操作パネルの**自動補正OFFボタンを3秒間、長押し**。
自動補正OFFランプが点灯し、自動補正警告機能（補正外時ブザー音）がOFFとなります。



- ② 前回記憶したレーザー（通常モード）が照射されます。
操作パネルより、必要なモードを選択及びレーザーを照射させて下さい。

- ※ 自動補正OFFモードで、レーザーが全消灯状態の時は、モード切替ランプが点滅しブザー音で警告します。
- ※ 自動補正OFFモードでは、水平・垂直・おおがね（90°）出しの作業はできません。
作業ミスを防ぐために、水平・垂直・おおがね（90°）出しの作業には、使用しないようにして下さい。
ご使用時は転倒にご注意下さい。

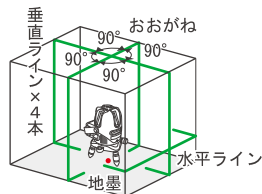


点灯

6. レーザー投影とモード切替

●レーザー照射について

下図のようにレーザー照射します。



専用受光器
LBP-PRG
(オプション)



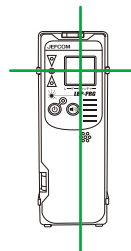
●通常モード

本機は受光器対応です。オプションの専用受光器 LBP-PRGを使用すればレーザーラインが見えない明るい場所でも最大約30m、レーザー位置を検出可能です。

受光器を使用する場合は、操作パネルの**モード切替ランプが緑点灯**している事を確認して下さい。
モード切替ランプが緑点灯時のみ専用受光器の使用が可能となります。



- 注意：受光器は弊社の受光器LBP-PRGのみご使用下さい。
受光器のご使用方法は受光器LBP-PRGの取扱説明書をご覧ください。
- ・通常モード・高輝度モード・省エネモードの3パターンでレーザーラインの明るさが異なります。通常モード・省エネモードの場合、レーザーラインは若干薄くなりますが異常ではありません。
 - ・受光器をご使用の場合、右図のようにレーザーの交差する部分で受光させると誤作動の原因となります。受光器をご使用の場合、交差している部分は避けてご使用下さい。
 - ・高輝度モードと省エネモード時は、受光器は使用できません。受光器を使用する場合は必ず通常モードでご使用下さい。



●スタンバイモード

ロックツマミONの状態、自動補正OFFボタンを短押しすると、モード切替ランプが点滅しレーザーは全消灯状態になります。
再度、自動補正OFFボタンを短押しすると全消灯前のレーザーが照射されます。

※ロックツマミONの状態、既にレーザーが全消灯状態の場合では、自動補正OFFボタン短押しでレーザーは全照射状態になります。
この時に電源をOFFにしてもレーザー全照射状態は記憶されません。

●高輝度モード

本機は高輝度モードを搭載しています。
作業場所が明るくレーザーが見えづらい場合にご使用下さい。

高輝度モードを使用する場合は、操作パネルのモード切替ボタンを押して下さい。**モード切替ランプが赤点灯**している状態が高輝度モードです。レーザーが全消灯状態では、モード切替ランプは赤点滅になります。

注意:高輝度モード時は、受光器の使用はできません。

:周辺が暗い等、現場環境によっては高輝度モードではラインが太く見えることがあります。この場合は通常モード又は省エネモードでご使用下さい。

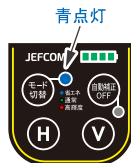
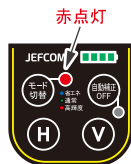
●省エネモード

本機は電池の消耗を抑える省エネモードを搭載しています。
(通常モード時よりもレーザーラインが薄くなります。)

省エネモードを使用する場合は、操作パネルのモード切替ボタンを押して下さい。**モード切替ランプが青点灯**している状態が省エネモードです。レーザーが全消灯状態では、モード切替ランプは青点滅になります。

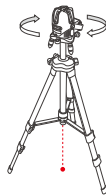
注意:省エネモード時は、受光器の使用はできません。

:省エネモード時、受光器は反応しますが精度の保証はございません。
受光器をご使用の場合は、必ず通常モードでご使用下さい。



7. 三脚への取付

墨出器用エレベーター三脚や軽天マウント、測量機用三脚アタッチメントを使用して測量機用三脚に取り付けてご使用する場合は、本体底面にある5/8インチ三脚取付ネジを使用して取り付けて下さい。



注意:三脚に取り付ける場合はあまりきつく取り付け部を締め付けしないで下さい。
故障の原因になります。

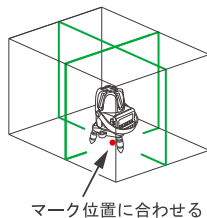
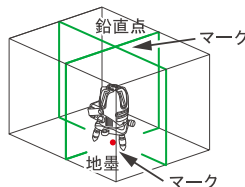
8. 精度の点検

本製品は精密機械ですので、常に調整され適切な状態で維持されなくてはなりません。機器による測定結果は使用者の責任です。ご使用前に必ず次の手順で精度の点検をして下さい。

注意:ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

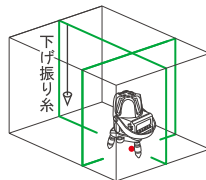
●上下鉛直点の点検

- ①天井が3m程の高さで、振動が無くできるだけ平らな場所を選びます。
- ②気泡管の気泡が円内になるよう、整準ネジで調整し水平出しを行います。
- ③ロックツマミをONにします。
操作パネルの垂直レーザー (V) 照射ボタンを押して4本の垂直レーザーを照射します。
地墨点(下部ポイント)と鉛直点(上部垂直ラインがクロスした位置)をマークします。
- ④本体を180°回して地墨点(下部ポイント)をマーク位置に合わせます。
- ⑤鉛直点を見て、③でマークした位置とズレが無いことを確認し、ズレが±0.75mm以内であれば許容範囲です。
- ⑥ズレが許容範囲を超えている場合は、調整・点検が必要です。販売店を通じて弊社へご依頼下さい。



●垂直ラインの点検

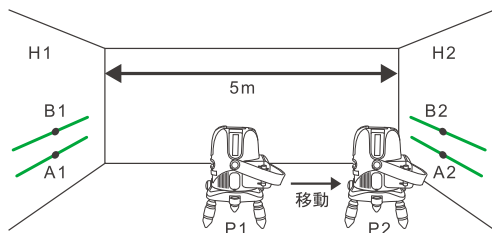
- ①天井が3m程の高さで、振動が無くできるだけ平らな場所を選びます。
- ②気泡管の気泡が円内になるよう、整準ネジで調整し水平出しを行います。
- ③お手持ちの下げ振りを天井にセットし、下げ振りから5m離れた場所から、操作パネルの垂直レーザー (V) 照射ボタンを押して4本の垂直レーザーを照射します。
4本の垂直レーザー光をそれぞれ下げ振りの糸に合わせます。



- ④下げ振り糸とレーザーラインのズレが許容範囲であれば、そのままご使用下さい。許容範囲を超えている場合は調整・点検が必要ですので販売店を通じて弊社へご依頼下さい。(糸の中心から $\pm 0.75\text{mm}$ 以内が許容範囲です。)

●水平ラインの点検

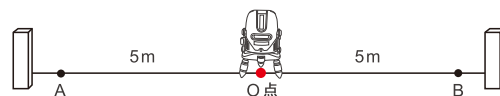
- ①振動が無くできるだけ平らな場所を選び、図のように向き合う壁面の距離が5mある中央P1に本機を設置し壁面H1に 水平レーザーを照射します。水平ライン上のほぼ中央をマークしA1とします。
- ②次に本機をP1の位置で180°回転させればA点とP1との直線上にある壁面H2に水平ラインの中央を照射させA2とします。
- ③本機をA1、A2を結ぶ直線上で出来るだけ壁面H2に近い場所P2に移動します。
- ④先ほどのマーク同様A1とA2との同一垂直線上に水平ライン中央を照射しそれぞれB1、B2とします。
- ⑤この時、本体上部を左右に回転させてB1点上で水平ラインを移動させます。この時のズレが $\pm 0.5\text{mm}$ 以内であれば許容範囲内です。
- ⑥さらにA1とB1の幅を定規で測りL1、同様にA2とB2の幅をL2とします。L1とL2の差が 0.5mm 以内であれば許容範囲内です。



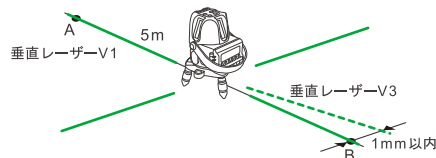
- ⑦許容範囲を超えている場合は調整・点検が必要ですので販売店を通じて弊社へご依頼下さい。

●両縦通り芯の点検

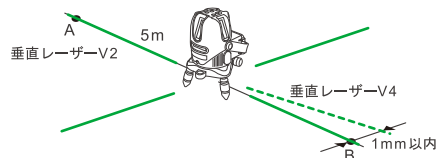
- ①振動の無い、出来るだけ平らな床に11m程の長さの水糸をピンと張ります。その中央の位置をO点とし、O点より両側5mの位置にマークしてA・Bとします。



- ②操作パネルの垂直レーザー (V) 照射ボタンを押し4本の垂直レーザーを照射します。地墨点レーザーを水糸上のO点に合わせて。さらにO点から片側5mのポイントAに垂直レーザーV1を合わせます。



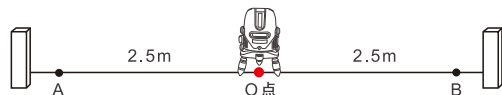
- ③この時、水糸上B点と垂直レーザー V3のズレを見ます。B点とのズレが1mm以内であれば正常です。
- ④さらに本体を回転させて垂直レーザー V2をA点に合わせます。



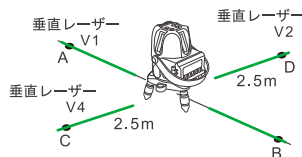
- ⑤この時、水糸上B点と垂直レーザー V4のズレを見ます。B点とのズレが1mm以内であれば正常です。
- ⑥ズレが許容範囲を超える場合は調整・点検が必要です。販売店を通じて弊社へご依頼下さい。

●おがね(90°)の点検

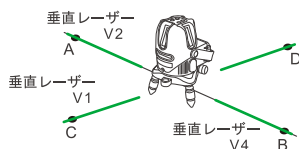
- ①振動の無い、出来るだけ平らな床に6m程の長さの水糸をピンと張ります。
その中央の位置をO点とし本機を設置して、操作パネルの垂直レーザー(V)
照射ボタンを押し4本の垂直レーザーを照射します。
地墨点レーザーを水糸上のO点に合わせてます。
さらにO点から両側2.5mのポイントをマークしてA・Bとします。



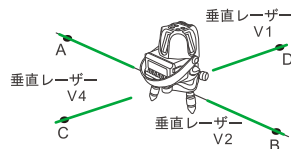
- ②本体の垂直レーザー4本を照射して、
垂直レーザーV1をA点に正確に
合わせます。この時、垂直ライン
V2・V4上でO点より2.5m離れた
点にマークしC点D点とします。



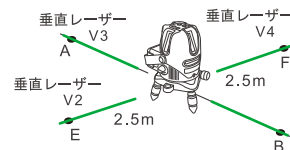
- ③本体を回転させて垂直レーザーV1を
C点に正確に合わせます。この時
垂直レーザーV4とB点とのズレを
見ます。B点とのズレが1mm以内
であれば正常です。



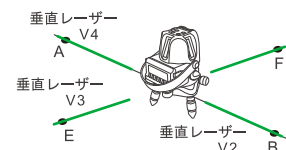
- ④さらに本体を回転させて
垂直レーザーV1をD点に正確に
合わせます。この時、垂直レーザー
V2とB点のズレを見ます。
B点とのズレが1mm以内であれば
正常です。



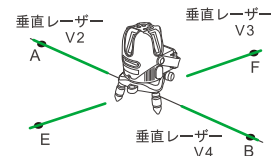
- ⑤次に垂直レーザーV3をA点に
正確に合わせます。この時、垂直ライン
V2・V4でO点より2.5m離れた点を
新たにマークし、E点F点とします。



- ⑥本体を回転させて垂直レーザーV3を
E点に正確に合わせます。この時垂直
レーザーV2とB点とのズレを見ます。
B点とのズレが1mm以内であれば
正常です。



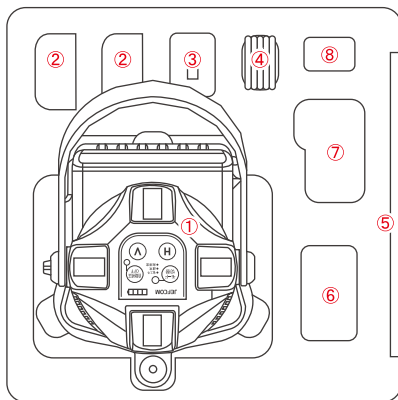
- ⑦さらに本体を回転させて
垂直レーザーV3をF点に
正確に合わせます。この時
垂直レーザーV4とB点の
ズレを見ます。B点とのズレが1mm
以内であれば正常です。



- ⑧ズレが許容範囲を超える場合は調整・点検が必要です。販売店を通じて
弊社へご依頼下さい。

9. 付属品

- ① 本体
- ② 専用充電式Li-ion電池パック×2個
- ③ USB-ACアダプター
- ④ USBケーブル(Type-C)
- ⑤ 取扱説明書
- ⑥ 専用受光器 LBP-PRG (オプション)
- ⑦ 専用受光器LBP-PRG用ホルダー (オプション)
- ⑧ 専用受光器LBP-PRG用9V乾電池 (オプション)



10. 故障かな？と思ったら

・レーザーラインが暗い、または照射しない

A. 電池は正しくセットされていますか？
＋、－の極性を確認の上、正しくセットして下さい。

A. 電池が古い、または電池切れではありませんか？
新しい電池と交換して下さい。

A. 通常モードまたは省エネモードでご使用ですか？
周辺が明るい場合では高輝度モードでご使用下さい。

・レーザーラインがきれいに见えない(線がぼやけて見える)

A. 電池が古い、または電池切れではありませんか？
新しい電池と交換して下さい。

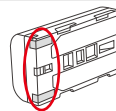
A. レーザー照射口のガラスの窓が結露していませんか？
結露が解消するまでしばらく時間をおいて下さい。

A. レーザー照射口のガラスの窓に水滴または汚れが
付いていませんか？
やわらかい布で軽く水滴や汚れをふき取って下さい。

・高輝度モードにするとラインが太くなる

A. 現場が暗い等、周辺環境によりレーザーが太く見える場合があります。
この様な環境下では通常モードまたは省エネモードでご使用下さい。

注意: 本機の電池BOX及び専用充電式Li-ion電池パック
の接点には触らないようにして下さい。
皮膜やホコリ等が付着し接触が不安定となる場合
がございます。
端子の汚れは乾いたやわらかい布で拭いて下さい。



上記の点検をしてもなお異常がある場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。